

自分磨きの2学期

校長 西尾 英憲

平成最後の夏休み、生徒達は、様々な場面で活躍し値打ちのある夏休みでした。

貢献する明中生

小学校の学習会の学習ボランティアや社会福祉協議会によるボランティア、8月14日の夏祭りなど、様々なところで多くの生徒が積極的に活動に参加しました。夏祭りでは、2年生が金魚すくいや射的などの屋台の運営やエナーちゃんの着ぐるみに入るなどのお祭りを盛り上げる活動ができました。特に幼い子どもたちを楽しませることができました。

人のためにできることをしようとする意志、見返りを期待せず働ける行動力が多くの生徒に育ってきています。社会に出て学ぶ成果が生徒の姿に表れてきました。



力を発揮 躍動する明中生

中学校体育大会の東濃、県、東海の各大会に多くの生徒が出場しました。特に水泳では3年生の安藤光佳莉さんが、女子100M平泳ぎで県大会を突破し、東海大会出場を果たしました。県大会には、陸上、テニス、卓球の各部から選手が出場しました。目標を見据えて、日々の練習を大切にしてきたからこそ、味わえる体験です。ひたむきに努力する生徒が多いことがわかります。

7月25日には生徒会サミットがあり、生徒会役員5名が、市内の各中学校生徒会と交流しました。明智中の取組を紹介するとともに、他校の実践を学びました。

この他にもスピーチコンテスト、オーストラリア研修、ぎふ立志リーダ養成塾などに参加する生徒がいました。自分の可能性を広げようと挑戦する意志と行動力。本当に頼もしい生徒たちです。



2学期は、体育大会の取組からスタートします。私たちは「日常を制するものが、体育大会を制する」を意識して「明中ABC」(当たり前のことを ばかにせず ちゃんとやる)に取り組んでいきます。決めたことをきちんとやり続けること(「自分を磨く」)で、やり遂げる喜びや自信や誇りが持てるようになります。日々の様子を見守り、やり遂げられるように励ましの声かけやサポートをお願いします。